

《特集：平成 29 年度日本薬学図書館協議会 研究集会》

人が集まる講習会の企画・立案： 城西大学水田記念図書館 事例報告

関口 千登世*

【抄録】城西大学水田記念図書館では、学習支援である図書館ガイダンスや各種データベース講習会のほか、図書館を通して学生たちが学部や学年を超えた交流ができるようにと様々な企画に取り組んできた。また、研究室を訪問し、図書館の活動が研究・学習支援の成果を生み出すヒントを得るために教員へのインタビューを行っている。

【キーワード】大学図書館、図書館活動、学生参加企画、授業との連携、教員との連携、他部署との連携

1. はじめに

城西大学水田記念図書館（以下、当館）は、理系学部・文系学部の学生約 8,000 人を対象に様々なサービスを実施している。大学図書館の最大の使命である学習・教育支援に繋がる図書館ガイダンスやデータベース利用講習会はもちろんだが、図書館を通してユニークな取り組みを企画し、図書館を身近に感じてもらえるようにと活動を続けている。本稿は、平成 29 年度日本薬学図書館協議会研究集会において発表した当館の活動事例に加筆し、今後の課題も含めて報告する。

2. 城西大学の概要

城西大学は 1965 年に創立者・水田三喜男により「学問による人間形成」を建学の精神として、埼玉県坂戸市に設立された。現在、薬学部、理学部、経済学部、経営学部、現代政策学部の 5 学部と各研究科、短期大学に所属する約 8,000 人が学ぶ総合大学である。

城西大学薬学部は、薬学科、医療栄養学科、薬科学科の 3 学科で構成されており、薬学科（6 年制）は「栄養学の知識を持った薬剤師の育成」、医療栄養学科（4 年制）は「薬学の知識を持った管理栄養士の育成」、薬科学科（4 年制）は「生活者の視点から食品・化粧品・医薬品の安全性を守る技術者の育成」を目指している。近隣の中高年者を対象に開講している城西健康市民大学は、「人々の健康づくりと活力ある地域社会づくり」を目標に地域住民の健康づくり・生涯教育を支援している。「食」と「健康」のサポートを目的とした授業は、

本学の薬学部と経営学部の健康スポーツマネジメントコースの教員が中心となって開講し、受講生の特典として、大学の授業の聴講、図書館の貸出サービスの利用、温水プールの利用があり、薬学部を擁する大学の特色を活かした地域貢献となっている。

当館の特徴としては、学生が学習相談に応じる学生アドバイザー制度、学外者の貸出会員から読書推進活動に参加いただいている地域アドバイザー制度を設けている。また、近隣公共図書館 6 館と地域相互協力協定を結び、地域住民向けの公開講座の合同主催、図書館員の合同研修会の実施、公共図書館主催の図書館まつりへの展示参加などの地域連携事業を実施している。

3. 学習・研究支援

3.1. 図書館ガイダンス・データベース講習会

当館で実施している利用者教育は、入学後に行われる新入生オリエンテーション、ゼミ・授業単位での図書館ガイダンス、データベース講習会など各種に渡っている。利用者教育の中心となっている図書館ガイダンスは、1 年生から大学院生まで各教員からの申込みにより 2016 年度は 111 コマを実施し、2,624 人が受講した（表 1）。ゼミや授業の一コマ 90 分を使って、以下の 3 つのコースをベースに教員の要望に合わせ内容をアレンジしている。

・基本コース

主に 1 年生前期、2・3 年生の未受講生を対象に、利用案内、館内ツアー、ブラウジング体験、OPAC の検索実習、資料の貸出体験を組み入れ実施している。1 年生のゼミでは、4 月から 6 月にかけての申込みが多く、大学図書館を利用するきっかけになると思われる。

・応用コース（A）

主に 1 年生後期、2・3 年生を対象に、雑誌記事検索

* Chitose SEKIGUCHI
城西大学水田記念図書館
〒350-0295 坂戸市けやき台 1-1
E-mail: sekiguti@stf.josai.ac.jp

や新聞記事検索の説明，法令・判例の探し方の説明および検索実習など，学部に関連するデータベースの紹介や就活に利用できるデータベースの紹介など，教員の要望により内容を変更している。

・応用コース（B）

主に2～4年生，大学院生を中心に，レポート・論文作成の手順や論文検索，引用のルール，ILLサービスの利用方法などを説明している。

基本コースのブラウジング体験は，教員の要望により近年実施するようになった。以前のガイダンスでは，とにかくOPACを使いこなせるようにと利用方法の説明と検索実習に力を入れていたが，中学・高校時代に図書館に行く機会もないまま入学してきた学生もいるので，実際に本棚に行って本を手取ることを体験させてほしいと教員から要望があり，館内ツアーのなかで一つのテーマに関連する本を探してきて全員で確認しあうということを取り入れている。

データベース講習会も各種開催しており，2016年度は9回開催し248人が参加した（表2）。契約先に講師を依頼し，大学の行事と開催日が重ならないように，また，関連する学部の図書館運営委員，選書委員や学部事務室に問い合わせ，学生が参加しやすい日程になるように調整している。2016年度の開催では，参加者が10人に満たないときもあり，開催日の設定や広報など改善すべき点が多い。

表1 図書館ガイダンス参加者（2016年度）

合計	111 コマ	2,624 人
経済学部	19 コマ	302 人
現代政策学部	33 コマ	535 人
経営学部	44 コマ	1,146 人
理学部	4 コマ	85 人
薬学部	7 コマ	524 人
短期大学	1 コマ	13 人
別科	1 コマ	15 人
大学院	2 コマ	4 人

3.2. 著作権講演会・英語論文執筆セミナー

2014年度から専門の講師を招き毎年開催している著作権講演会は，2016年度，大学院生の研究倫理教育として図書館主催の著作権講演会の受講を教務部から推薦された。そこで，多くの大学院生と学部生も参加できるように，前期は薬学部棟の教室で，後期は社会系の教室で開催した。薬学研究科の「論文作成法特論」の授業としての参加や社会系学部からも授業やゼミでの参加申込みがあり，レポート・論文執筆の注意点だけでなく，SNSの利用上の注意や肖像権についても言及するよう講師に依頼し，インターネットを頻繁に使う学生たちが学べる機会とした。

2016年度には電子リソース契約先の大手出版社の講師による英語論文執筆セミナーを開催し，自然科学系の教員と大学院生の87人が参加し好評であった。

4. 図書館のキャリア構築支援

4.1. 就職課共催就活DVD上映会

図書館ガイダンスの申込み時に就活に利用できるデータベースや資料を紹介してほしいという教員の声があることから，ガイダンス以外でも図書館の資料を使った就活支援ができるのではないかと検討し，2012年度から就職DVDの上映会を開催してきた。第1回目の2012年度は，開催期間を5日間設け，日本経済新聞出版社発行のDVD『就職活動のすべて』を日替わりで5回に分けて上映した。広報チラシには「自由に入室して観ることができます」と記載し，上映時間を学生の昼休みにし，申込みも不要，参加者が気軽に入退室できるようにした。2013年度からは就職課に協力を依頼し，就職課共催として就職課職員によるアドバイスや質疑応答の時間を設け，図書館からは就職支援図書やデータベースを紹介した。さらに，学生が参加できる機会を増やすため，各週の前半と後半を同じ内容にし，上映期間も2週間に拡大，時間も90分に延長するなどの工夫を重ねた。その後，キャリアデザインの担当の教員から授業でも上映してほしいと依頼され，教室に向いて上映を行った。キャリアデザインの授業は履修学生が多く，図書館

表2 データベース講習会参加者（2016年度）

授業利用ゼミ・研究室	日付	時限	人数	内容
○	5月23日	4	28	レポートのための新聞記事・企業情報活用「日経テレコン講習会」
	6月30日	4	11	東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー講習会
	8月22～26日	3	36	薬学部研究室向けデータベースガイダンス
	10月21日	4	10	図書館・就職課共催「就活向け日経テレコン講習会」
	11月25日	3	31	化学科・薬学部向け「卒業研究・実習のためのJDreamⅢ講習会」
○	12月14日	3	5	レポート作成・卒業研究に使える「医中誌 Web講習会」
	2月21日	3	10	教員・院生向けEndNote説明会
	3月8日	2・3	82	化学科向けSciFinder講習会
○	3月8日	4	35	薬学部向けSciFinder講習会

○：ゼミ・研究室単位での申込みがあったもの。



図1 図書館主催講演会の様子

所蔵の就職支援図書やデータベースなどの就活支援ツールを案内することができた。上映会の参加者アンケートでは、「就職への意識が高まった。就職活動のイメージができた」「映像で見て学べて良かった。通常の就職説明会では伝わりにくい部分も理解することができた」「授業の空き時間だったので参加した。とてもわかりやすいDVDだったので、これからも参加したい」などの回答を得ることができた。

DVD以外にも民放のテレビドラマを利用したキャリア支援活動も行った。テレビ朝日系列の人気ドラマ『相棒』で放映されたものが、大学生の就活を取り上げた内容だったので、ドラマを使った企画ができないかとキャリアデザイン授業の担当教員に持ち掛け、テレビ局の許諾を得て実施に至った。授業では、ドラマを視聴した学生たちがグループディスカッションをし、発表後に教員と就職課員からアドバイスを受け、図書館からは就活に利用できる資料やデータベースを紹介した。人気ドラマの面白さを利用したユニークな就活支援となった。

4.2. 書店・出版社とのコラボによる講演会

キャリア構築支援として、出版社取締役の方や編集者を講師に招いた図書館主催の講演会も開催してきた。参加した学生たちは熱心に聴講し、質疑応答も活発であった。参加者のアンケートでは「本で学んだことは、自身の人間形成に大きな影響を与えるのだと再確認することができた」「必ず自分の将来に役立つ日が来ると考えたので、今後図書館で学部以外の本も読んで自分の視野を広げていこうと思った」などの感想があり、編集者が語る仕事への真摯な姿勢や取締役の方の書籍販売営業の経験談などを聴けたことは、学生たちにとって大きな刺激となった。講演会後は展示した講師のおすすめ新刊書から図書館に置きたい図書を選書する「学生選書」も開催し、キャリア構築支援と読書推進活動を連動することができた(図1)。

5. ビブリオバトル、ライブラリー라운ジの開催

2011年度から全国大学ビブリオバトルの予選会を開催し、毎年3~4名が地区決戦に出場している。ビブリ



図2 全国大学ビブリオバトル予選会

オバトル予選会は学部も学年も違う学生たちが出場し、司会を担当する学生アドバイザー、発表者、観戦者の本を通じた交流が広がっている(図2)。相互協力協定を結んでいる近隣の公共図書館員、近隣大学の図書館・教員からも見学希望があり、投票にも参加いただいた。教員のなかには、ゼミでビブリオバトルに取り組んだり、発表本をゼミの教材に取り入れたりと、図書館から始まった活動が少しずつ広がりを見せてきている。近年、公共図書館でもビブリオバトルを開催するようになり、本学の学生も出場し地域の方と交流する機会をいただいている。

また、大学祭では学生アドバイザー主催でビブリオバトルを開催し、近隣の住民の方に学生の活動を観ていただく機会となっている。2016年度の大学祭では、理事長賞を受賞することができ、続けてきたアドバイザー活動が認められたことは図書館にとってもうれしい出来事であった。

ライブラリーラウンジは、学生たちがリラックスした雰囲気の中で学部や学年を超えた交流をすることで、図書館を利用するきっかけになるようにと開催している。学生アドバイザーの企画では、就活に活かせるゲーム感覚でコミュニケーション能力を培うものや、グループでおすすめ本を紹介しあうビブリオバトルのミニ版ともいえる「ゆるほん」などを開催し、学部が違う学生たちが活発に交流する場となっている(図3)。学生アドバイザーは、大学祭ビブリオバトルやライブラリーラウンジを主催し、企画から開催までの経験を通して組織で活動することを学んでいる。

6. 研究室訪問

図書館ガイダンスを受ける学生は多いが、ガイダンスで学んだことがその後の授業に活かされているのか、また、様々な図書館の活動が研究・学習支援へつながっているのかなどを確かめるために、研究室を訪問し20人の教員ヘインタビューを行ってきた(2017年10月末現在)。教員からはガイダンスへの要望や、授業に必要な資料は図書館に揃っているか、学部・学科に応じた授業支援はできないかなどを伺い、今後の取り組みへのヒン



図3 ライブラリーラウンジ「ゆるほん」

トを得ている。

7. 今後の課題

図書館の利用者を増やすためには、図書館の活動が魅力あるものにならなければならない。それには、学生が求めているものを見出し、さらに教員や他部署からも協力を得る必要がある。今後も教員や他部署とのつながりをもてるよう、図書館からの情報発信を強化し、学生が主体となって参加できる企画を考えていきたい。

参考文献

- 1) 城西大学水田記念図書館. 図書館統計・活動記録. (オンライン). 入手先 <http://libopac.josai.ac.jp/guide/statistics.htm>, (参照 2017-10-28).
- 2) 城西大学水田記念図書館. 学生アドバイザー制度. (オンライン). 入手先 <http://libopac.josai.ac.jp/apply/adviser.html>, (参照 2017-10-28).
- 3) 城西大学水田記念図書館. 図書館主催講演会：知っておこう著作権 2017 [ポスター]. (オンライン). 入手先 http://libir.josai.ac.jp/il/meta_pub/G0000284repository_JOS-P20170627, (参照 2017-10-28).
- 4) 城西大学水田記念図書館. 城西大学図書館主催講演会：編集の仕事が生まれるまで：岩波書店現役編集者が語る [ポスター]. (オンライン). 入手先 http://libir.josai.ac.jp/il/meta_pub/G0000284repository_JOS-P20131121, (参照 2017-10-28).
- 5) 城西大学水田記念図書館. 図書館主催講演会：本が読みたくなるカラクリ：出版社の営業ってナニ [ポスター]. (オンライン). 入手先 http://libir.josai.ac.jp/il/meta_pub/G0000284repository_JOS-P20140516, (参照 2017-10-28).
- 6) 関口千登世ほか. 大学図書館ができるキャリア支援：城西大学水田記念図書館の取り組み事例. 薬学図書館. 60 (2), 2015, 141-148.
- 7) 若生政江. 「ビブリオバトル首都決戦 2011 予選会 in 城西」を開催して. 薬学図書館. 57 (1), 2012, 67-69.
- 8) 関口千登世. 城西大学水田記念図書館ビブリオバトル事例報告 2011～2013. (オンライン). 入手先 http://libir.josai.ac.jp/il/meta_pub/G0000284repository_JOS-presen2013-001, (参照 2017-10-28).

(原稿受付け：2017.11.10)